

# 2009年度 決算公表参考資料

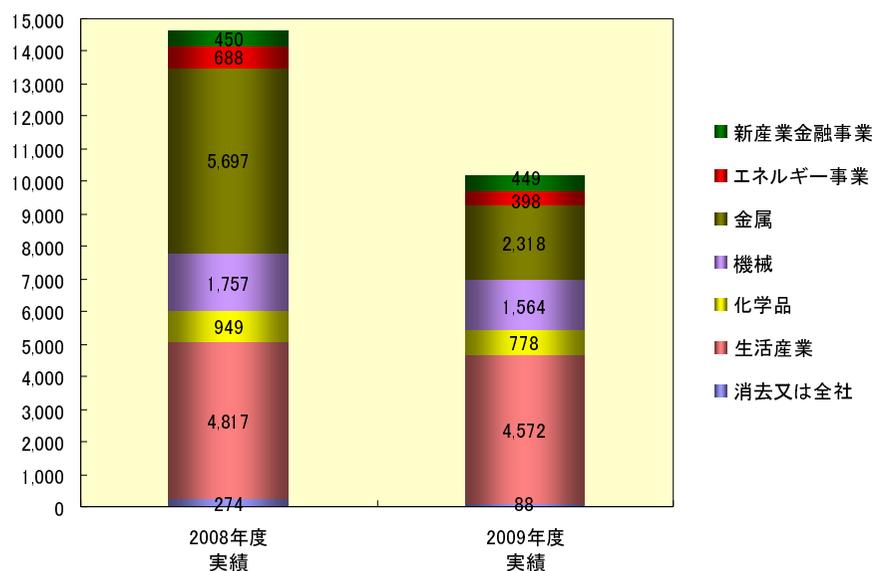
2010年 5月 7日

三菱商事株式会社

## 主要PL項目の前年度比増減

(億円)	2008年度 実績	2009年度 実績	増減	増減率
売上高	223,891	170,987	▲ 52,904	-24%
売上総利益	14,632	10,167	▲ 4,465	-31%
営業利益	5,889	1,814	▲ 4,075	-69%
当期純利益	3,699	2,731	▲ 968	-26%
基礎収益	8,558	3,784	▲ 4,774	-56%

セグメント別売上総利益推移



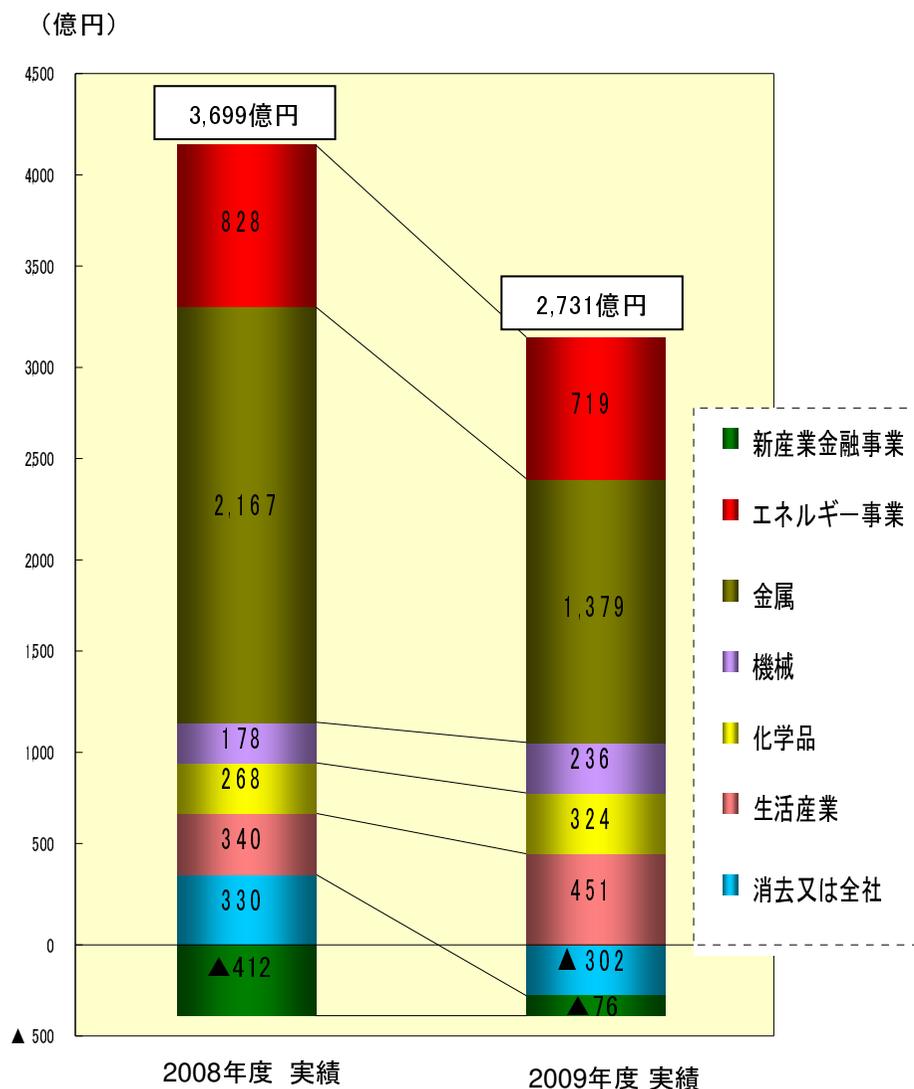
(※) 2009年4月の組織再編に伴い、2008年度の数値を新組織ベースにリステートして表示しております。

過去のトラックレコード (四半期ベース)



本資料における「当期純利益」は、非支配持分を除く、当社株主に帰属する当期純利益の金額を表示しており、2008年度までの当期純利益と同じ内容です。  
また、「株主資本」も、非支配持分を除く、当社株主に帰属する資本の部の金額を表示しており、2008年度までの株主資本と同じ内容です。

## セグメント別当期純利益の前年度比増減



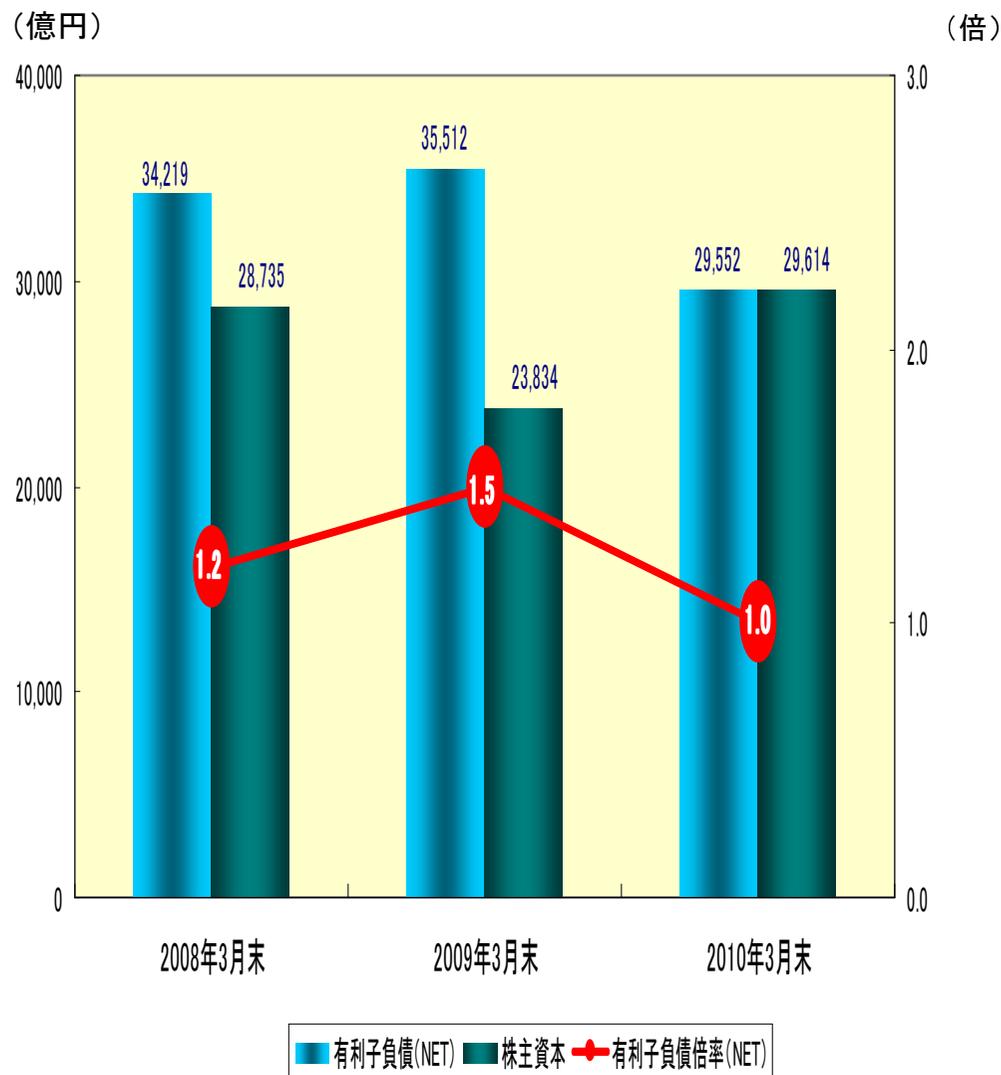
(※) 2009年4月の組織改編に伴い、2008年度の数値を新組織ベースにリステートして表示しております。

### セグメント別増減理由

- **新産業金融事業 (336億円の改善)**  
株式減損(日本航空株式等)の計上があったものの、ファンド投資関連収益の改善及び前年度の株式減損の反動がこれを上回ったことによるもの
- **エネルギー事業 (13%減益)**  
前年度における海外資源関連子会社での固定資産減損の反動があったものの、油価下落や円高による海外資源関連子会社の取引利益減及び海外資源関連投資先の持分利益減、また日本航空子会社向け燃料デリバティブ取引に係る損失計上などにより減益となったもの
- **金属 (36%減益)**  
前年度における株式減損の反動があったものの、豪州資源関連子会社(原料炭)における販売価格の低下による利益減や日本航空子会社向け燃料デリバティブ取引に係る損失計上などにより減益となったもの
- **機械 (33%増益)**  
三菱自動車工業の優先株式の減損、前年度の船舶市況高騰の反動、量販機械事業での取引減などがあったものの、海外IPP事業会社での利益増、前年度の株式減損や固定資産減損の反動などにより増益となったもの
- **化学品 (21%増益)**  
前年度の市況好調に伴う汎用化学品取引好調の反動があったものの、石化事業関連会社の繰延税金負債取崩に伴う持分利益増や、前年度株式減損の反動により増益となったもの
- **生活産業 (33%増益)**  
食料関連事業及び資材関連子会社における取引利益減やローソン子会社での損失計上などがあったものの、前年度の株式減損の反動などにより増益となったもの

資源価格の推移	2008年度 実績	2009年度 実績	増減
油価(ドバイ)(\$/BBL)	81.8	69.6	▲12.2
銅価格(\$/MT)	5,864	6,101	+237
アルミ価格(\$/MT)	2,227	1,866	▲361

## 株主資本と有利子負債の増減



### 主な株主資本増減要因 (2009年3月末比)

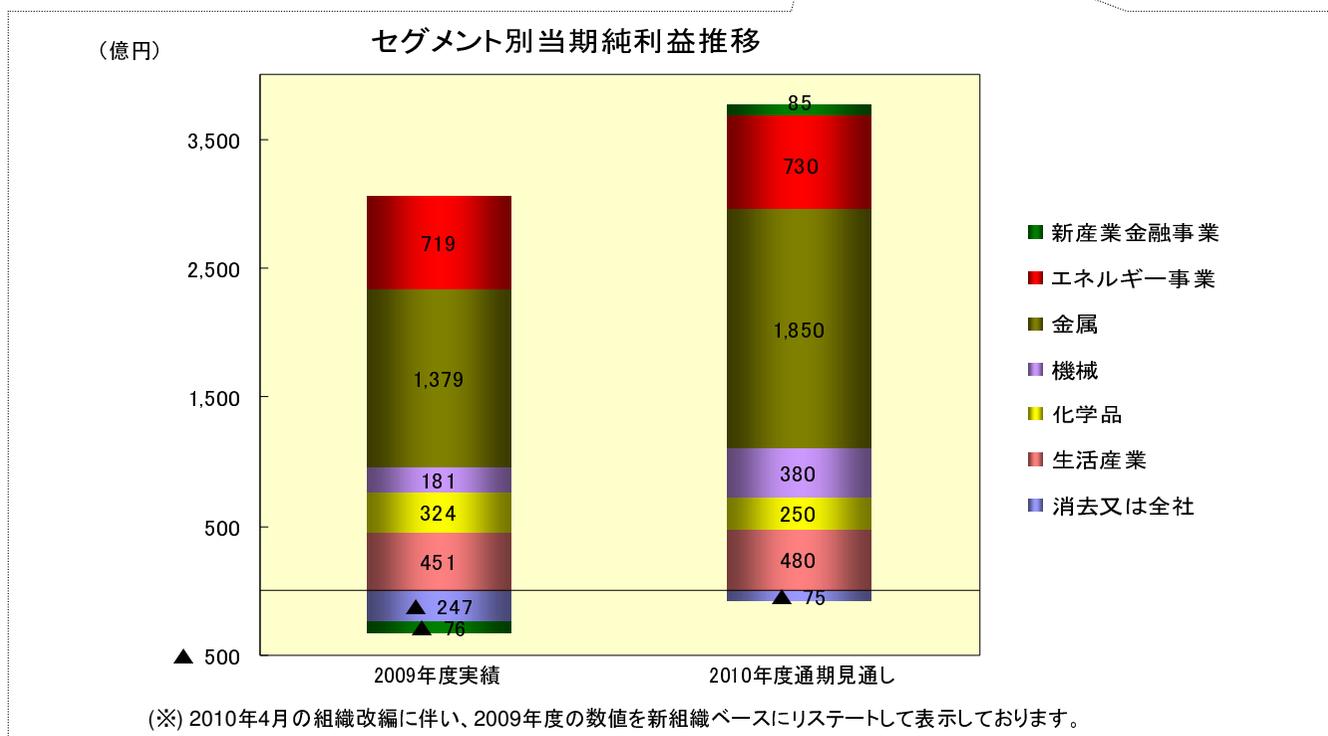
- ① 当期純利益の積み上がり  
(2,731億円)
- ② 配当金支払  
(▲542億円)
- ③ 未実現有価証券評価益の増加  
(1,534億円)  
… 株価上昇による保有上場株式の  
含み益の増加
- ④ 為替換算調整勘定の改善  
(1,565億円)  
… 対豪ドル等での円安の影響

### 為替換算調整勘定への主要通貨別影響額

通貨種類	為替換算調整 勘定への影響額 (概算: 億円)	2010年 3月末 レート	2009年 12月末 レート	2009年 3月末 レート	(参考) 2008年 12月末 レート
米ドル	▲100	93.04	92.10	98.23	91.03
豪ドル	+1,400	85.28	82.28	67.01	62.61
ユーロ	0	124.92	132.00	129.84	127.96
ポンド	0	140.40	146.53	140.45	131.83
パーツ	+100	2.87	2.76	2.76	2.60

## 通期業績見通し①

(億円)	2009年度 実績	2010年度 通期見通し	増減	増減率
売上高	170,987	188,000	17,013	10%
売上総利益	10,167	11,500	1,333	13%
営業利益	1,814	2,800	986	54%
当期純利益	2,731	3,700	969	35%
基礎収益	3,784	4,950	1,166	31%



(注意事項) 本資料における業績予想や将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

## 通期業績見通し②

### 通期見通しの前提

	(a)2009年度 実績	(b)2010年度 通期見通し	増減 (b)-(a)	当期純利益に対する損益インパクト
為替(YEN/\$)	92.9	90.0	▲ 2.9	1円の円高(安)につき年間21億円の減益(増益)インパクト
円金利(%) TIBOR	0.53	0.45	▲ 0.08	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利(%) LIBOR	0.44	0.50	0.06	
油価(\$/BBL) (ドバイ)	69.6	75.0	5.4	\$1上昇(低下)につき年間10億円の増益(減益)インパクト
銅地金(\$/MT)	6,101	6,834	733	わが社配当収入の原資である銅鉱山の収益は、銅地金価格の変動に加え、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画(設備投資)等の要素からも影響を受ける
アルミ地金(\$/MT)	1,866	2,100	234	\$100上昇(低下)につき年間10億円の増益(減益)インパクト

### 株価の影響(上場有価証券減損の状況)

	減損計上額(税引後)	期末日経平均株価
通期業績見通し織込み額	▲60億円	日経平均11,000円レベルで発生する減損を試算の上織込み

(注意事項) 本資料における業績予想や将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。